

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

<http://www2.kinzei.or.jp/~wakayama/>



ヒマワリ（兵庫県佐用町）

夏の季語でもあるヒマワリの原因は北アメリカ。名前の由来は、太陽の動きにつれてその方向を追うように花が回ると言われたことからだという。ただし、この動きは生長に伴うものであるため、実際に太陽を追って動くのは生長が盛んな若い時期だけ。種は絞ってヒマワリ油として利用され、煎って食用とすることもでき、ディーゼルエンジン用燃料（バイオディーゼル）として利用する研究も進められている。また、カリウムなどと共に性質が類似する放射性セシウムを吸収する性質を持つことから、原発事故などで放射能汚染された土地に植えられて除染に用いられることもある優れた植物なのである。

目次

ごあいさつ.....	2	租税教室との関わり.....	4
着任のご挨拶.....	2	栄冠の歌は、復興の歌になる.....	5
新任署長、副署長へのインタビュー.....	3	新入会員等紹介.....	6
還暦を超えて越えて.....	3		

ごあいさつ



和歌山支部長 齋藤恒明

残暑厳しき折、支部会員先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は会務運営につきまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私は、去る5月13日、第31回支部定期総会におきまして支部長に選任されました。

ご協力いただく新副支部長や幹事、監事の先生方には経験豊かな方々がおそろいで、今後の会務運営に大いにご活躍いただけるものと、期待している次第であります。

さて、税務行政の効率化推進の一環であるところの、e-Tax・eLTAX並びに書面添付制度の普及拡大あるいは税務支援への対応、更には成年後見制度への取り組み、研修制度の充実など、近年私たち税理士を取り巻く環境は大きく変化をいたしております。

また、先般3月には東日本大震災が発生し、未曾有の大災害をもたらしたところでありますが、我々の支部におきましても同様の災害が危惧される所であり、この度の震災を教訓として支部としての危機管理にも、適切に取り組んでゆかなければならない状況にあります。

こうした現状を踏まえ、我々役員一同、心を一つにして会務運営に努力してまいり所存ではあります。が、支部会員先生方におかれましても、一層のご支援、ご協力をお願いする次第であります。

最後になりましたが、支部会員先生方の益々のご健勝とご事業の隆盛を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。



着任のご挨拶



和歌山税務署長 大塚茂樹

新秋のみぎり、近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

私は、この度の定期人事異動により、和歌山税務署長を拝命し、過日着任いたしました。

和歌山税務署長は初めての勤務であります。貴誌の誌名にもある紀州五十五万石の城下町で、歴史と伝統に培われた人情味豊かなこの地に勤務できることは大変光栄であるとともに、県下の要としての職責の重要性を痛感している次第であります。

ところで、昨今の税務行政を取り巻く環境は、経済取引の広域化や経済社会の国際化・高度情報化の進展などにより一層複雑・困難化している上に、この度の東日本大震災によって被災された方はもちろん、震災により影響を受けた方々や支援された方に関する税制論議など、国民の皆様の税に対する関心はますます高まっております。

このような中、社会経済情勢の変化に対応しつつ、「納税者サービスの向上」、「適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」に向けて、最善を尽くす所存であります。

今後とも貴支部との連帯を密にし、「e-Taxの普及拡大」「書面添付制度の普及・定着」等について、先生方のご意見を十分に受け賜りながら、税務行政の円滑な運営に努めてまいりますので、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部の益々のご発展と会員の先生方のご事業のご繁栄並びにご健勝を心から祈念いたしまして、着任のごあいさつとさせていただきます。

質問

- ①ご出身地
子供の頃の思い出
- ②入署のきっかけ
- ③今までの仕事で
印象に残ったこと
- ④和歌山についての印象
- ⑤最後に一言

大塚 茂樹 和歌山税務署長

前任：国税庁長官官房 大阪派遣 主任監察官

- ①岡山生まれの大阪育ちです。
大阪駅の北西部に子供の時から現在まで居住していますが、近年の開発により大きく様変わりし、より便利な土地になりました。子供のころ、草野球や虫取りで駆け回っていたところはすべてホテルや大きなビルに変わってしまいましたが、私の住んでいるところは、未だ下町風情を残しています。そのせいか小学校からの同級生（特に女性）がたくさん残っています。
- ②たまたま友人から誘われて国税専門官の試験を受験し合格したのがきっかけです。もともと会計士志望でしたが、在学中の合格ができなかったことから、大学院へ進学し、再度挑戦も考えましたが、交際中の女性（今の妻）と結婚したい思いがあり、早く自立しなければならなかったこともきっかけになっています。入署のきっかけは崇高なものではありませんが、入署後はまじめに仕事に取り組んできたつもりですのでお許しください。
- ③所得税課審理係、国税訟務官、国税審判官等審理畑で長年勤務してきた私ですが、2年間だけ統括国税査察官としての経験があります。この2年間は調査担当として極めて貴重な経験をさせていただきました。脱税犯の立件に向けて昼夜問わず仕事に没頭した2年間でしたが、自分が携わった事件については未だにその時の状況が頭の中に残っています。
- ④和歌山税務署の勤務は初めてですが、私の妻が和歌山出身ですので、何か困縁めいたものを感じます。和歌山のイメージは私の妻から受けるところが大ですので、本当のところとは異なっているかもしれませんが・・・
- ⑤「e-Tax の普及拡大」は、本年においても署の最重要課題であり、全力を挙げて取り組んでいく所存です。先生方のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

インタビュー

安井 敏澄 和歌山税務署 副署長 担当：法人・酒税

前任：阿倍野税務署 副署長



- ①大阪市十三で生まれ、高校まで過ごしました。
小さな頃に淀川でイカダ遊びをして下流まで流されたり、どぶ川に落ちて一旦は泥の中に全身が埋もれて行方が分からなくなりながらも九死に一生を得たり、また亡き藤田まことさんに遊んでもらったりと、思い出満載の町です。
- ②体験学習で税務署を訪れる中学生から同じ質問をされたときは、「正義を行う仕事をして、人のためになりたかったから。」と答えました。
該当する職種の中から、警察や消防等のように体力を要するものよりはまだ自分のできるかと考えて税務の道を選び、いつしか30年が過ぎております。
さまざまな経験の幾ばくかを自分の歴史にすることができたと感じているのか、おかげで、件の中学生たちには「水谷豊が演じる「相棒」の杉下右京や刑事コロンボみたいな税務職員になるのも悪くはないと思いますよ。」と語りかけることができました。
- ③仕事で家族を帯同し過ごした2年間の海外生活です。妻と幼子を気にかけてつても会議等で出張する日々が続く、共に過ごすはずの休日にも働くという状況が数ヶ月続くこともありました。それだけに、妻や娘との濃密な時間が今も思い出されます。
- ④肌に当たる風の心地よさや豊かな自然が育む魚や果物の美味しさなどが日々の生活と一体にある当地和歌山。そこで一人、波止から釣り竿を出していると旧知のように親しく声をかけてくれる人によく出会います。
そんな和歌山の土地柄、人柄の「大らかさ」の中でこれから仕事をしていくのを、今から楽しみしております。
- ⑤国税組織及び税務署運営は、納税者のご理解とともに、先生方のご支援・ご協力を頂戴しなければ十分に機能することはできません。「e-Tax の更なる普及と定着化」等をはじめとする私どもに与えられております重要な各課題に対しまして、引き続き、また従前にも増して、ご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

還暦を超えて越えて

野志 幸雄

数年前より自転車、即ちサイクリングを始めた。始めたきっかけは健康管理と言えれば格好いいが、実は過重で股関節を少々傷めたので、加重なく運動できるように始めた次第です。交通量の少ない比較的舗装された安全な道路を探すと、田舎道、山間の川沿いの道路となる。和歌山の場合は山間への道路には不自由しないが、比較的登りで体力を必要とするところが多い。

その厳しさにも増して引きつけられるのは、車で走ると気が付かない川のせせらぎの音、山間にこだまする鶯はじめ鳥の鳴き声、清々しい澄んだ空気などで、これらには特筆すべき魅力がある。夏の炎天下のサイクリングなどは厳しいが、それゆえに山間の涼しい山陰や木陰の道には更なる癒しを感じたりするのである。

当然のことながらスピード競技のツールドは無理であり、あくまでも楽しく癒しを得ながらのんびり走るサイクリングが目的である。

昨年、ホノルルセンチュリーライドというサイクリングイベントを知り、大胆にも挑戦した。これは20マイル、30マイル、50マイル、75マイル、100マイルのコースがあり、当日の体調等でコースを選択できる特徴がある。事前にロードバイクやクロスバイクの自転車の基本的な乗り方や長距離サイクリングの注意点の基礎のライド講習を受けた。この時も自分の乗り方やサドルの高さが我流の域を出ないことを思い知った。反省！

当初50マイルを目標に参加することにしていたが、周りの影響を受け75マイルまで行ってしまった。帰りのダイヤモンドヘッドの登りで一杯一杯だったが、この峠を越えるとゴールと思い何とか完走した。休憩時間を含め7時間弱、初めての長距離挑戦にしては大満足であった。

仕事の合間に、ゆっくり景色を楽しみ、それぞれの場所の音を楽しみ、各地での人情にふれながらのサイクリング小旅行を可能にするため、毎日100kmを安定的に走れる体力作り励んでいる今日この頃です。



租税教室との関わり

橋野 正樹

私の租税教室との最初の関わりは平成12年に、ある任意団体の支部長をしていた時、額田幸至先生に講師をお願いして、県立和歌山商業高校で租税教室を実施したことです。教室のうしろで、額田先生の熱の入った授業を聞きながら私のテンションも上がっていったのを懐かしく思い出します。もしかすると、あの時の租税教室が和歌山で初めての租税教室だったのかもしれませんが。

そして何年か経ち、私にも小学校での租税教室の講師のお誘いがありました。私の長男が小学校へ入学する直前だったので、小学校の様子を探ってみようという、極めて個人的な動機で引き受けたような気がします。以後6年間、年に一回、小学校で租税教室の講師をさせていただきました。税理士が行う一味違う租税教室ということ念頭に置き、税金の成り立ち、必要性そして使い方の検証の重要性について話をしていきます。静かなクラスもあれば賑やかなクラスもあります。聴いていないようでも、子どもたちは結構話を聴いているものです。退屈させないように用意したビデオや小道具には興味を持つものの、まとめの話になると退屈されたりして、私の話術の未熟さを痛感させられたりもしましたが。それでも理屈抜きで、子どもたちと一つのテーマについて考えることは楽しいものです。そしてオマケと言っては失礼ですが、現場の校長先生をはじめ先生方とお話をするこも、子供をもつ親としては興味深いものです。

私の長男も来年小学校卒業です。私も長男に合わせてそろそろ租税教室卒業（というかクビ？）の時期かも知れません。まだ租税教室を経験されていない方は租税教室の講師依頼があれば是非お引き受け下さい。近税会本会にも支部にも参考資料はあります。失敗を恐れず子どもたちと楽しいひと時をお過ごしください。



栄冠の歌は、復興の歌になる。
雲はわき光あふれて (栄冠は君に輝く)
森脇 敏夫

「3月11日、あの日の東日本大震災から4ヶ月が経とうとしています。私も含め被害を受けた多くの方々は、普通に生活できていたことがどれほど幸せだったかを改めて実感していると思います。

人は支えあい、協力し合うことで希望を見出し、未来へ進むことができると信じています。いつまでも下を向いては何も変わりません。だからこそ、私たちは今大会を通して、勇気や感動を与えられるよう、熱く元気よく、精いっぱい戦い、野球ができる喜び、そして環境にあることを人々に感謝し、全力プレーで正々堂々と戦うことを誓います。」

これは、全国高校野球選手権大会の被災地のある県予選大会の選手宣誓の全文である。開会式の終わったあと、このチームの監督は選手を集め宣誓の文句に後ろむきな言葉が無かったことを褒めチームメイトの一人は涙していた。選手たちの中には、親兄弟、親戚、友人を亡くし悲しい日々を何日も過ごした者もあると聞く。しかし、瓦礫の山を横に見て、悲しい思いを胸にしまい、ひたすら白球を追う姿は全国のどの強豪校にもひ

けをとらないであろう。高校生としての勉強はもとより練習の合間にボランティア活動をし、自分たちも被災者であるにもかかわらず、他人を励ますなど到底考えられないエネルギーであると思う。

また、被災地の子どもたちの作文集も目にしたが、前文の宣誓と同様、後ろ向きの言葉など殆ど無かった。明日へ向かう希望と、前へ進む勇気と行動力には敬服するのみである。

被災地の復旧・復興の遅れや、支援策の不手際等を非難することは別として、今この時期に開催されるこの大会に参加する学生たちはもとより、被災地の子どもたちの元気さ、明るく振舞う姿には心を打たれる。

この投稿が、会員の皆様の目に触れる頃には大会も既に終わり、全国の高校生達が様々なドラマを演出し、感動を与えてくれているのであろう。そして、いつの日にか彼らのもとに栄冠が輝くこと、まして被災地の早期の復旧復興を心より祈る。



新執行部 紹介



支部長／齋藤恒明



支部監事／木村雅彦



支部監事／大住文夫



税務支援対策委員会／山口智己・石倉督斗・鶴島幸夫・堀 博充



総務委員会／青木俊典・森脇敏夫・安田厚子



業務対策委員会／西山正記・古田倫子・額田幸至・竹内 央・西川明伸



厚生委員会／沼崎健一・田中佳則・山田 賢・桐本洋彰



広報・綱紀監察委員会／橋本義彦・梅本 厚・小西里枝・中北茂寛

新入会員等紹介 (敬称略)

入
会



ウメモト アキ オ
梅本 暁生

平成23年3月23日
和歌山市小人町23番地
梅本厚税理士事務所



ヌカタ トモ コ
額田 朋子

平成23年6月28日
和歌山市黒田181番地の5
テントウワン税理士法人
和歌山事務所

退
会

片山 明 (業務廃止)
平成23年1月18日

小川 喜夫 (業務廃止)
平成23年1月19日

榎本 雅子 (業務廃止)
平成23年2月2日

山本 和明 (死亡)
平成23年2月18日

木村 茂晴 (死亡)
平成23年3月19日

吉田 建一 (業務廃止)
平成23年4月28日

鈴木 俊男 (業務廃止)
平成23年6月7日

小川 清廣 (死亡)
平成23年6月30日

転
出

下津 正也 (粉河支部へ)
平成23年6月2日

会 員 数

平成23年8月20日現在 225名(社)

編 集 後 記

3月11日の東日本大震災の発生後、被災地の皆さんの状況が明らかになるにつれ、暗～くなっていた日本。

その後の政府、東電の起こした人災による各方面への悪影響に対する怒り、といったものが吹き出していた日本に、一筋の光を差してくれたのが女子サッカー世界一に輝いた「なでしこジャパン」である。

彼女たちが体の大きな欧米の選手を相手に、走って走って、取られても取り返し、最後まで諦めない直向きな姿は、我々は勿論のこと、被災地の皆さんたちにも勇気と感動を与えたことであろう。

風向きチェックを入念にしてから被災地にチョコッとだけ顔を出すようなアカン総理には逆立ちしても絶対に真似のできないものであった。

また、甲子園球場での第93回全国高校野球大会第1試合の始球式で、気仙沼向洋高校3年の斉藤弘樹投手がその大役を務めた。

彼は3月11日、練習中に津波に襲われ、グラブ一つを持って逃げ惑った。校舎4階まで襲った津波はグラウンドもメチャクチャにし、バットも何もかも流さ

れた野球部員はボランティアに明け暮れた。

全国からの支援で道具が揃い、グラウンドを借りての練習は再開したものの、宮城県大会では2回戦で敗退した。

本来ならば、甲子園の夢の舞台には立てないはずの斉藤投手に、練習もままならない中、ボランティアに汗したことに対するご褒美として、苦難に耐えて頑張った東北の全球児代表としてこの始球式がプレゼントされた。粹な計らいに思わず涙が溢れた。

チームや同じ被災した全ての高校球児の思いを、一身に背負って投げた渾身の一球は「がんばろう日本」の象徴となる力強いものであった。

なでしこジャパンや高校球児に負けぬように我々税理士も頑張らなくては！

広報委員会 梅本、小西、中北

